

## 講演会

# 「三國荘と山本爲三郎」

アサヒビール初代社長・山本爲三郎氏は生前「民藝運動」を熱く支援していました。その証でもある知られざる「三國荘」。民藝運動を先導した柳宗悦らは1928年(昭和3年)御大礼記念国産振興東京博覧会にパビリオン「民藝館」を出品し、その思想を初めて住空間として表現しました。民藝館は山本爲三郎が買とり、博覧会終了後、大阪の三国の自邸に移築、「三國荘」とよばれるようになりました。現在、アサヒビール大山崎山荘美術館(京都)で「三國荘展」が3月13日まで開催されています。今回学芸員をお迎えして画像も交え「三國荘と山本爲三郎」の演題で講演会を開催することになりました。

記

日時：**2月28日(日)**14時～15時15分

場所：三国社会福祉会館

(淀川区三国本町3-30-6) 三国駅南東100m

演題：「三國荘と山本爲三郎」

備考：申し込み不要

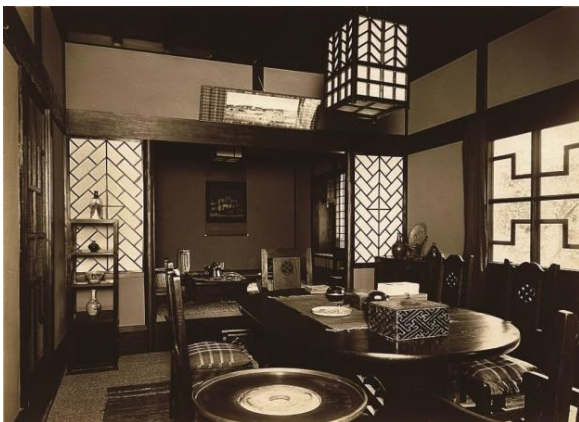
主催：三国文化サロン

共催：三国新道商店街

連絡先：ザ・淀川編集室6301-8370



三國荘外観



三國荘 応接室



黒田辰秋《黒朱漆電灯笠》



河井寛次郎  
スリッパウェア線文鉢》

民藝運動とは生活文化運動。柳宗悦らは日常の生活道具を「民藝(民衆的工芸)」と名付け、美は生活の中にあるとした。